

白門経友会



今年も卒業式、入学式の季節がめぐってきました。卒業生、新入生は人生の次のステップに向けて胸躍らせていることでしょう。
さて、前号でもお知らせしましたように、二〇二四年度も対面にて総会を開催いたします。詳細は下段をご覧ください。多くの方々のご参

加を期待しております。

本号では、中央大学経済学部が早くから教育の一環として取り入れてきたインターンシップ・プログラムについて現状をお伝えいたします。

経済学部が正課の

インターンシップを行う意味

経済学部長 佐藤拓也



二〇二三年六月、文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「インターンシップの推進に当たつての基本的考え方」(三省合意)が改正され、大学生等のキャリア形成支援に係る取組が類型化される一方、一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を、広報活動や採用選考活動に使用することが、正式に認められるようになった。

ところで、中央大学経済学部は、「大学で学修した専門知識・理論・

【第34回 白門経友会総会のお知らせ】

日時：2024年6月8日(日) 14時より

場所：経済学部七号館教室

【公開記念講演会】

総会終了後 14時40分頃より

講師：松丸和夫教授

終了後、懇親会を催す予定です。詳細は五月下旬に白門経友会HPにてお知らせいたします。

政策等を、主体性をもって社会の実地において実践する能力を養成することを目的として、一九九三年度にインターンシップ制度を日本の大学で最初に正課授業として導入した」(中央大学『自己点検・評価報告書二〇二二』、三九四ページ)。これは、当時の公共経済学科創設に合わせ、「公共機関や民間企業で実地研修させて、応用能力と問題意識の開発を求める制度」(『中央大学経済学部百年の歩み』二〇〇五年、一二〇

ページ)と位置付けられている。この出自からも明らかのように、これは決して、三省合意が容認したような「採用活動の一環としてのインターンシップ」ではない。

さらに、現在の経済学部は、「ゼミ、グローバル、キャリアを「三つの柱」として掲げるが、この三つはゼミを中心に互い結びついている。ゼミでの学びが、社会に出るための基礎力や社会的問題意識を養い、これがグローバルな視野を広げ、自らのキャリア形成にも繋がっていくという考え方である。狭義のキャリア教育だけが独立しているのではない。

これからは、企業の活動も近視眼的な利益のみを追い求めるのではなく、その社会的役割が本格的に問われる時代になる。この時、会社や自己の成長といった狭い視野に留まることなく、広く社会に対する問題意識を持ち続けることは、自らの能力を社会に還元していくことに繋がる。また、実際の企業や公的機関、市場、そして社会を体験し学ぶことは、社会科学としての経済学を修めることの一環を成している。

経済学の研究・教育機関がインターンシップを正課授業として提供する意味が、ここにあると言える。

インターンシップ

現状と学生達

経済学部特任教授 平松裕子



キャリア教育担当の教員として経済学部インターンシップを担当して一〇年以上になります。社会状況の変化に応じて、受入れ企業の実況、学生の意識とも変化しながら今日に至っています。コロナ禍少し前から就職は売り手市場と言われるようになり、インターンシップは受けやすくなったとも言えます。しかし企業側の青田刈りの一環としてのインターンシップも増加し、学生にとっては自分の興味ある企業の体験であるだけでなく、選考される緊張を孕んだものに変化してきました。

二〇二二年「インターンシップを始めるとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たつての基本的考え方」を文部科学省、厚生労働省、経済産業省が三省合意の形で発表しました。その中で大

学三年生を対象とした五日以上のもの等内容を規定した上で、採用活動に直結する学部生インターンシップを認めました。企業動向を認める形での解禁です。そして学生の動き、内々定のタイミングがますます早まっています。

その一方で、就職活動に躊躇する学生も出ています。なぜでしょうか。仕事を実感できていないというのの一つの原因と考えられます。本学経済学部の学生は、直接的に目に見えるものを作成する立場ではなく、情報通信サービス、金融・保険など、学生時にその働く姿を見ていない職種に就くことが多いということもあるでしょう。

そもそも、今の世の中では自分が日々他の人の力によって生きているという実感を持たずに生活できません。登校し授業を受けて、アルバイトをして帰宅する。アルバイトは自分のためです。仕事はそれと何が違うのでしょうか。アルバイトより束縛が強い、賃金を得るための手段としてだけ捉える学生もあります。すると、それは自由だった学生生活の終わりと思えられ、希望を持って向かう出来事としての就職が描けないということになります。社会に世

話になっている実感はなく、自分が働く際に人の役に立つということの意義や手応えを感じるのは難しいのではないのでしょうか。

そのような状況下、インターンシップの授業を担当しています。仲間と自分を肯定していくこと、その上で、実際に生き生きと働いている人の姿を見て、自分の生き方を考えてみてほしいと思っています。

具体的には三年生の授業では、夏季インターンシップ実習と、授業内で Project Based Learning (以下 PBL) を実施しています。インターンシップは一企業にひとりか多くとも二人という単位で赴き、後期授業でその一部をクラス内で実際に展開します。研修先企業は「一企業や専門商社など多岐に渡ります。

一方、企業の仕事に触れ、消費者としてではなく、サービスを提供する側の視点で考える PBL では、プロジェクト立ち上げから提案までを班単位で疑似体験します。その大きな特徴は自己主導で学びを計画し、実践し、プロセスと結果を振り返ることによりスキル向上を図る手法にあります。ヒアリングや市場調査も含めた根拠ある提案を行い、企業利益の上がる内容が求められます。ま

ず、クラスの中で提案先企業を決め、どうやったら話を聞いていただけるかというところから話し合いが始まります。業界や対象企業に関して分担して調べ、経済学の授業で得た知識を応用し分析します。ひとつの意見に絞らず、多くの意見を出し合い、捨てずに分類整理を行い、課題と現状のギャップを具体化し、班ごとに企画要素をあげていきます。

二〇二三年度は飲料メーカーへのビール需要促進提案を行いました。「コロナ禍に入学してきた私たちは、集まってビールを飲むという機会がそれまでの年に比べて減少しています。このような状況を打破し、みんなが楽しくビールを飲むということを実現したいと考えました。」これは彼らの企画書にある企画動機です。初めて酒を飲む大学生をターゲットにし、最初に与える印象が後にも大きく影響を及ぼすという心理的傾向にも着目したのですが、実際企画するとなると、当然ではあります。大学生というターゲットには飲酒禁止年齢者が約半数存在するわけで、当該飲料メーカーとして大学という場で飲酒を宣伝できないというところに、彼らはまず躓いていました。企業として社会的責任をどう捉

えるのかという基本を甘くみていた
と思いついた様子でした。その後
就活に注目し、飛び級のない日本
は二十歳を超えないとなれない三年
生以上に絞り込み、大人・就職とビ
ルを繋げられる場を考えるなど工夫
をしていきました。写真は企業への
企画の最終提案に赴いた際の学生た
ちです。企業との交渉や担当者との
打ち合わせを経て、この日に至りま
した。

夏のインターンシップにおいて企
業人と接し、PBLではそれまでの学
びや自分たちの考えを述べる自信、
聞いてくださる企業への感謝などか
ら、就職することに前向きに力を蓄
えてきたと思います。そして大学に

コンサルティング業界を

目指して

八森舞(経済学部三年)
私は第一志望の企業から内定をいた
だき、就職活動を終了しました。そ



おける様々な学びで培った土台の上
に学生たちには社会に羽ばたいて
いってほしいと願っています。



提案先企業における最終提案直前の経済学部インターンシップ
民間企業コース受講生

ここで、私が経験した就職活動につい
て、時系列順に説明させていただきます。
まず。

私は就職活動を大学三年生の四月
に始めました。当初は、ウェブテス
トの勉強、業界の絞り込みを行って
いました。そして、四月の間に希望
をコンサルティング業界(以下コン
サル)に決定し、インターンシップ
は全てコンサル企業に応募しまし
た。他の業界は一切見ないで就職活
動を行っていたので、業界と企業

の志望理由をインターンシップに参
加し、明確にしてから、本選考に望
むことができたことは良かったな
と思います。

コンサル業界のインターンシップ
は約二十社に応募し、選考を受けた
結果七社のインターンシップに参加
することができました。各企業二、
五日の日程で、コンサル業務の模
体験や企業説明がおこなわれまし
た。本選考ではインターンシップに
参加した内四社を受け、全て内定を
いただくことができました。コンサ
ル業界の選考は、マイページに登
(応募)し、エントリーシートの提出
ウェブテスト、ケース面接、一次面
接、二次面接、最終面接という流れ
が多かったです。インターンの選考
は、ケース面接を突破すると合格と
いう企業が多かったです。また、イ
ンターンシップに参加すると、イ
ンターンシップ選考の際受けたウェブ
テストが免除になるなど、本選考に
おいてインターンシップ生への優遇
を行う企業がほとんどでした。

感じたことは二つあります。一つ
目に、コンサル業界は就職活動の早
期化を押し進めている要因である
ということ。優秀な人材を囲い込
もうとするため、三年生の夏にイン

ターンシップを行うなど、早期から
採用活動を行うからです。早期に内
定を決められるのは就活生にとって
心の余裕になるので、私は就職活動
の早期化に賛成です。二つ目に、選
考を突破するのに苦労するというこ
とです。私が内定をいただいたある
企業の倍率は、昨年二百倍だったそ
うです。ウェブテストの勉強や面接
練習など、周知な準備をしないとコ
ンサル業界で内定をいただくのは難
しいというのがわかりました。
今後は、内定をいただいた企業
で、コンサルタントとして精進して
いきたいと思っています。

経済学部創立百周年記念奨学金へ募金のお願い

(目標金額 六千万円)

公式サイトの
バナー



経済学部 創立百周年記念奨学金
継続のための
募金のお願い

学生のキャリア形成を金銭面から
後押しする「経済学部創立百周年
記念奨学金」について、引き続
き皆様のご支援を賜りたくお願
いしております。募金方法や税制
上の優遇措置など、詳しくは公式
WEBサイトにございます。経済
学部ページ下部の赤いバナーをク
リック、スマホはQRコードか
らご覧ください。

え、あの先生が シリーズ③⑦

経済学部教授 田中 光

二〇一九年四月着任の田中光(たなかひかる)です。東京都葛飾区出身で、途中引越しはあったものの大学院までずっと都内に通っておりましたが、中央大学着任直前までは約五年間、神戸大学経済学部にも勤めておりました。関西弁もその際にある程度習得したと自負しておりますが、「タナカさん東京の落語家みたいなしやべりやねえ」と先方では言われておりましたので、やはり基盤は東京弁のようです。

専攻は日本経済史、それも少額金融や政策金融といった地域史からの金融史・経営史ですが、経歴や研究の話はきょうびインターネットでresearchmapでも拝見していただいた方がわかりやすく詳しくと思いますし、「え、あの先生が」とタイトルコールの通り意外な趣味



の話でも始めてくれて構わないとおうかがいしましたので、意外かどうかはわかりませんが特技とそれにまつわる関係小話でもさせていただけようかと思えます。

趣味というわけでもないのですが、それこそかつて大学時代のサークルでフラメンコを始め、サークル活動としては当然卒業以来離れてしまったものの、今も細々と習い続けております。フラメンコと言うとおおよそ人からの反応は二種類に分かれます。一つは「ああ、あの！花の首飾りかけて踊るやつ！」それで想定されている舞踊は大体ハワイの方の踊りであるフラダンスなので、まったく根本的に違うことになりま

す。もう一つの反応は「ああ、あの！バラの花くわえて男女がすごい絡んで踊るやつ！」それで想定されている舞踊は確かにフラメンコなのですが、残念ながらそのフラメンコのイメージは実物とはまったく異なっています。経済学部生と言えば全員みんな数学が大得意で大好きと言われた時のような感覚でしょうか。

スペイン南部のアンダルシア地方発祥のフラメンコという芸術は、元々は歌の芸能でした。それも独唱です。ギター伴奏の中で歌い手が感

極まって動き出した、それが踊りになり、その流れで今は歌・ギター・踊りが融合した芸能として広まっています。したがってバラをくわえていたら歌えませんが、踊り手は基本は舞台の上に一人なのです。もちろん、日本での部活やフラメンコ教室の発表会では、演目の作りの関係上、複数人で組んで群舞として踊ることの方が一般的ではあるのですが。

フラメンコの場合、踊り自体が非常に音を出すものになっていて、踊り手はさながらパーカッション担当の趣があります。上手くなれば歌もギターも踊り手もアドリブを挟んでくることもあり、そういう意味ではフラメンコという芸能の音楽性はジャズに近いものがあると感じます。なお歌とギターと踊り手は一つの曲の中で自分自身のパートの見せ場があることが多く、そうした作りも、ジャズのセッションに似ているなど思うことがあります。

元々がスペインの舞踊であるためフラメンコの公演は、プロアマ問わず大体チケット代の中にワンドリンクが入っており、そのメニューの選択肢には大体ほぼ確実にアルコール類が含まれています。もし機会があれば是非、一杯ひっかけに行く感覚

で結構ですので見に行つてやつてく

編集後記

本号では、経済学部の特徴である、正課授業の一環として位置づけられたインターシップの近況を特集しました。佐藤学部長による概要説明のあと、平松先生、八森さんにレポートしていただき、おかげで読み応えのある会報に仕上げる事ができました。ありがとうございます。

加えて、「え、あの先生が」では、田中先生から、自己紹介としてご趣味のフラメンコについて寄稿していただきました。フラメンコの衣装に身を包んだご自身の素敵なお写真が紙面に花を添えています。

では、六月の総会でお会いしましょう。

(幹事長 濱岡 剛)

2024年3月31日 第86号
発行 白門経友会常任幹事会
編集 白門経友会編集委員会
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1
中央大学経済学部内
URL : www.wg-keiyukai.com
Fax : 042-673-3425